

# 平成21年度 仏教テレフォン相談 統計分析表

平成21年6月1日～平成22年5月31日  
〔 27年目 〕

相 談 開 室 日 数	216日
相 談 者 数	3, 523人
1 日 平 均 相 談 者 数	16.3人
相 談 総 件 数	3, 981件
1 日 平 均 相 談 件 数	18.4件

**仏教テレフォン相談には、毎日、様々な悩み、苦しみ、救いを求める声が寄せられます。**

**それらの声から垣間見える現代社会の現象を考察してみました。**

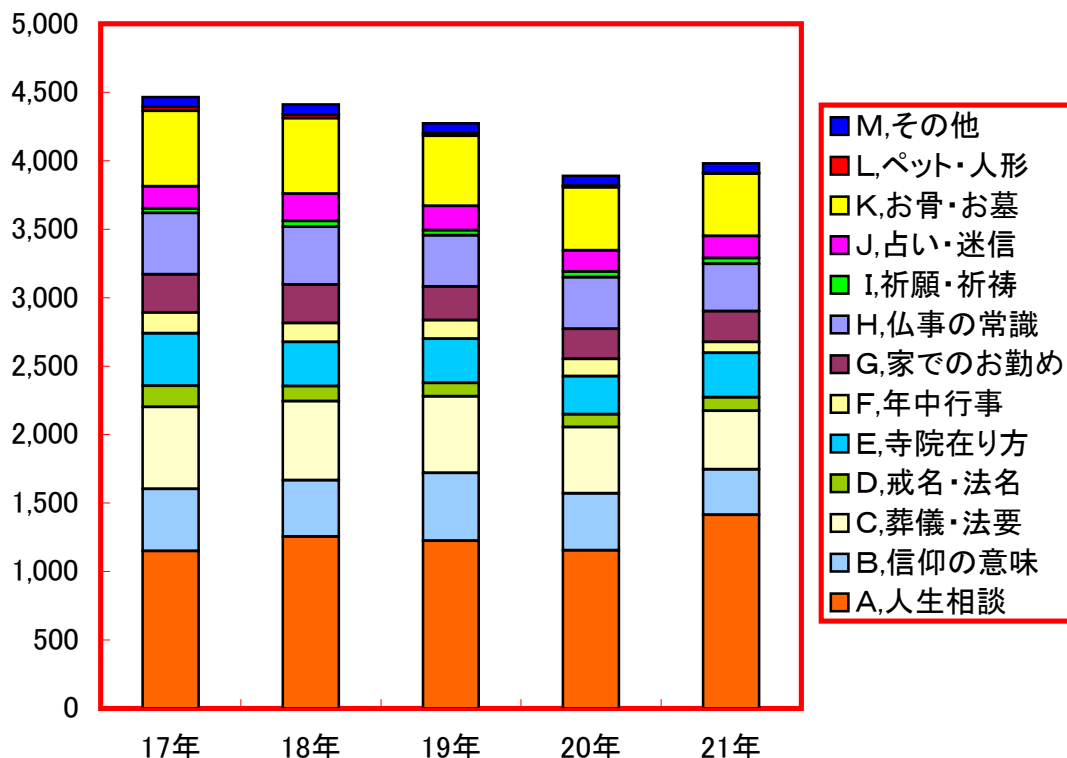
相談者の中には、毎日のように、或いは1日に数回、電話を掛けてくる方がいる。相談というよりは世間話的な内容が多く、中には妄想的発言や僧侶に対する攻撃的発言をしてくる方もいる。そういう方々を『頻回者』といい、電話相談を開設しているほとんどの会が頻回相談者の対応に苦勞している。その理由として相談が長時間にわたること、担当者の精神的疲労があげられる。また、頻回者の相談を受けていると緊急に相談を必要としている方の相談が受けられなくなるという事態に陥る。そのため相談所はそれぞれに頻回者対策を講じていて、当センターはすべての相談を平等に扱うという仏教の立場から、今回電話を1台増設した。それゆえか、人生相談の項目において頻回者の占める割合が昨年の45%から60%に増えた。この数字の意味するところは、他所の相談所でこぼれた方々なのか、それとも全国的に頻回者が増えたのか、おそらく両方であろう。こうした方々の多くは、大きなストレスを抱え、精神的に病んでいたりすることが多い。相談電話は心の支えであるが、電話では解決しないこともある。家族などのサポートを得ての根本的解決が必要に思う。

統計・水本／報告・互井

## 大分類

	件数	
A 人生相談	1,415	35.5%
B 信仰の意味、教義、仏教文化や学問	331	8.3%
C 葬儀、法要、供養、永代供養	429	10.8%
D 戒名・法名	97	2.4%
E 寺院・僧侶・既成教団の在り方や運営	326	8.2%
F 仏教の年間行事、特殊法要	78	2.0%
G 家庭での祀り方やお勤め	225	5.7%
H 仏事の常識やマナー	345	8.7%
I 既成寺社の祈願・祈祷	44	1.1%
J 占い、迷信、霊感・霊視商法(既成仏教以外のこと)	161	4.0%
K お骨・埋葬、墓地・墓石	455	11.4%
L ペット・針・人形などの供養	4	0.1%
M その他、時事問題や仏教以外の行事など	71	1.8%
	<b>3,981</b>	
N 行政機関やマスコミからの問い合わせ	70	

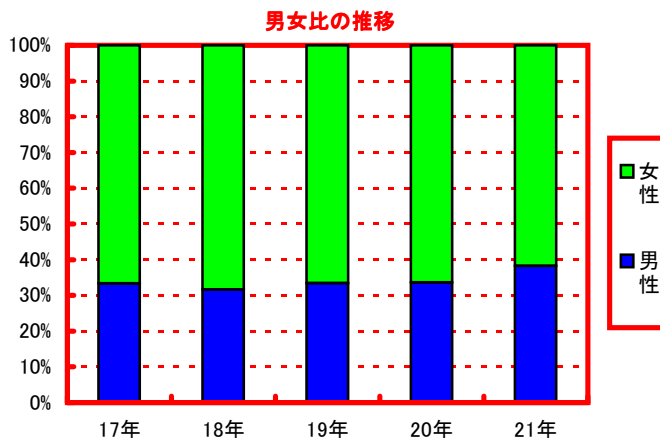
## 相談件数の推移



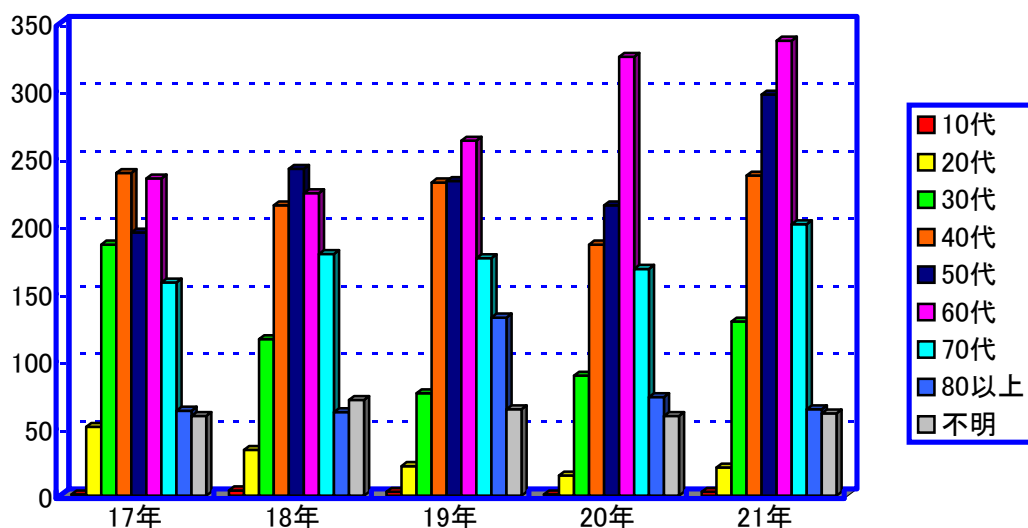
## 男女比

男性 38.3%      女性 61.7%

10代	3	2
20代	21	21
30代	129	141
40代	237	328
50代	297	614
60代	337	493
70代	201	355
80以上	64	127
不明	61	92
合計人数	1,350	2,173



## 男性の年代構成推移



## 女性の年代構成推移

